

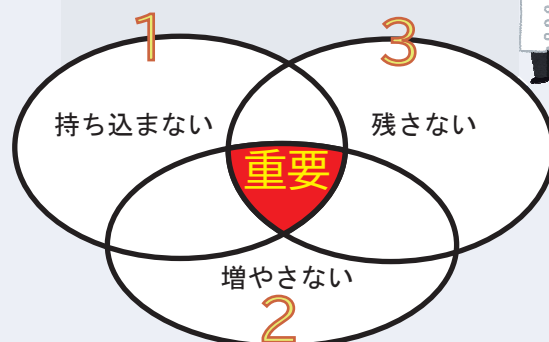
基腐病対策の優良事例集

鹿児島県 / 鹿児島県サツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム / 鹿児島県さつまいも・でん粉対策協議会



サツマイモ基腐病対策の基本は、ほ場に基腐病菌を
「**持ち込まない**」「**増やさない**」「**残さない**」
対策を総合的に取り組むことです。

県内各地の優良事例を参考にし、基腐病の克服に向けて、**油断することなく取り組みましょう！**



サツマイモ基腐病とは

◆ 病原菌 糸状菌 (*Diaporthe destruens* (カビ))

◆ 伝染方法

□ 第一次伝染

苗伝染：病原菌に感染した種いもと感染苗で、ほ場内に侵入。

土壌伝染に比べ、短期間に急増。

土壌伝染：前作に基腐病が発生したほ場では、り病残さ中で病原菌が生き残り、定植苗が残さと接触することで感染。

□ 第二次伝染

発病株に形成された胞子が降雨により生じる滞水などを介して周辺株にまん延する。

総合的な対策で被害軽減・収量アップ！

実施地区：鹿屋市吾平地区



ポイント

3つの対策の実践で、基腐病を抑えよう！

取組内容

取組前

①自家増殖した種いもを利用

持ち込まない

②降雨でほ場に雨水が滞水。

増やさない

③発生した畑で連続栽培。

残さない

取組後

・バイオ苗の利用。
・植付前の苗消毒を徹底。

・雨水がほ場外に流れるよう、ほ場の周囲に排水溝を掘り、枕畝を除去。

・いもの収穫後、残さの持ち出しや、残さの分解促進のため、耕うんを3回実施。

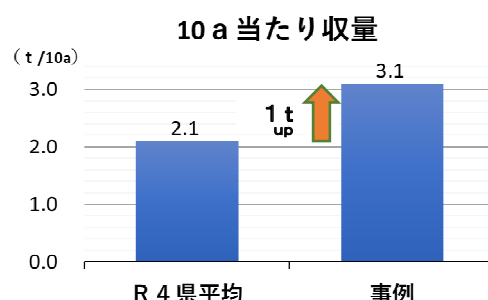
結果

貯蔵中の腐敗が減少、育苗床での発生無し。

単収：3.1 t/10a (コガネセンガン)

生産者の声

3つの対策を徹底することで、病気の発生が減り、収量が増えて良かった。対策をしっかりすれば、発生も減少し、良いものが作れる。



健全苗の確保

種いもの蒸熱消毒

実施地区：南九州市知覧地区



ポイント 健全な種いもから苗を生産しよう！

■ 取組内容

見た目がきれいな種いもであっても貯蔵中に腐敗し、**苗の確保が困難な状況**。
地元ＪＡが蒸熱処理装置を導入したことを機に、種いもの**蒸熱消毒**に取り組む。
基腐病の発生が無いほ場から種いもを採取し、水洗・選別を行い、蒸熱消毒を実施。

■ 結 果

貯蔵中の腐敗が減少、育苗床での発生無し。
単収：3.5 t /10a（コガネセンガン）

■ 生産者の声

蒸熱消毒は初めてで不安もあったが、**効果を実感。**
地域ぐるみで基腐病を克服していきたい。



蒸熱処理装置への種いも搬入作業

健全苗の確保

種いも専用ほ場の設置

実施地区：県内各地



ポイント 健全な種いも生産には、基腐病が発生していない水田や畑を活用しよう！

■ 取組内容

早期水稻跡や水稻を作付けしない**水田**の活用
さつまいもを栽培していない畑や休耕地の活用

■ 結 果

基腐病の発生が無く、育苗床でも発生無し。

■ 生産者の声

種いも生産は、基腐病対策の第一歩のため、**健全なほ場を確保することが大事だ**と実感した。**排水対策**や生育途中の管理もしっかりと行い、健全な苗生産につなげたい。



水田での種いも栽培

健全な農地の確保

水田活用

実施地区：志布志市有明地区



ポイント 基腐病の発生していないほ場でさつまいもを栽培しよう！

■ 取組内容

早期水稻を収穫後、プラソイラによる心土破碎、周囲溝の設置や枕畝を除去し、**排水対策を徹底**。その上で、蒸熱消毒した種いも由来の健全苗を植え付け。

■ 結 果

単収：3.6 t /10a（コガネセンガン）

■ 生産者の声

排水対策を徹底し、水稻と輪作することで、県内全域で被害が大きかった令和3年産でも単収2.6 t、さらに、令和4年産は、種いもの蒸熱消毒にも取り組んだことで、3.6 tを確保できた。**水田での輪作の効果を実感。**



水田を活用したさつまいも栽培

健全な農地の確保

さつまいもの休作

実施地区：西之表市立山地区



ポイント

被害が多かったほ場の健全化を図るため、さつまいもを休作しよう！

- 取組内容
令和3～4年産：夏場は緑肥（クロタリア），冬場はばれいしょを栽培。
令和5年産：さつまいもを栽培。本ぽでは，健全苗の利用，予防防除を徹底。
- 結 果
単収：2.6 t /10a（安納紅）
- 生産者の声
2年間の休作は，不安もあったが，3つの対策と併せ，収量を確保でき良かった。
また，農薬散布は，新たな防除体系（フリント＋フロンサイド）の効果を実感した。

健全な農地の確保

野菜等との輪作

実施地区：曾於市末吉地区



ポイント

被害が多かったほ場の健全化を図るため，輪作をしよう！

- 取組内容
令和2年産：3月から6月まで緑肥（カラシナ），8月～12月までにんじんを栽培。
令和3年産：さつまいもを栽培。
- 結 果
単収：2.5 t /10a（コガネセンガン），前年単収：1.5t
- 生産者の声
基腐病の被害が大きかったほ場でも輪作することで，被害を軽減できた。
今後も，収量確保に向け経営内の輪作に取り組みたい。



コガネセンガンの生育状況

健全な農地の確保

キャベツ農家との交換耕作

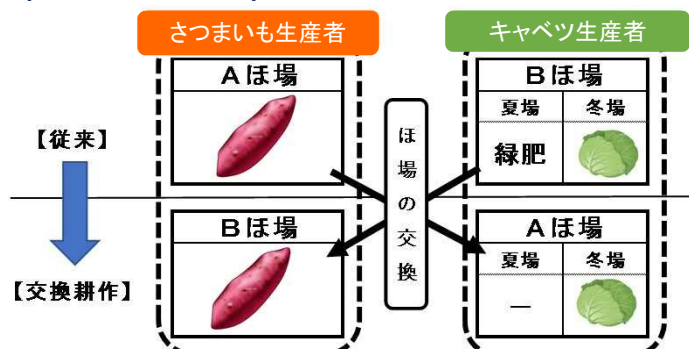
実施地区：指宿市山川地区



ポイント

連作障害に悩む近隣の農家等と交換耕作をしよう！

- 取組内容
キャベツ農家は，連作障害回避のため，夏場に緑肥などをすき込み，土壌改良を実施。
そこで，お互いの連作障害の解決を図るため，夏場の半年間，ほ場の交換耕作を実施。
- 結 果
単収：3.5 t /10a（コガネセンガン）
- 生産者の声
交換耕作は，双方の信頼関係が重要。
ほ場が離れていると作業効率が悪いので，近くの農家との交換がポイント。
今後もウィンウィンの関係が続くように取り組みたい。



健全苗の確保

でん粉工場との連携

実施地区：阿久根市赤瀬川地区



ポイント

抵抗性品種への転換で、生産量を確保しよう！

■ 取組内容

でん粉原料用の生産量確保に向け、**抵抗性品種を導入**し、でん粉工場が**蒸熱消毒した種いもから苗を生産**し、**生産者へ供給**。品種比較の展示ほ設置で品種特性を周知。

■ 結 果

単収 こないしん：5.1t/10a、みちしずく：3.0t/10a
シロユタカ：2.6t/10a

■ 生産者の声

基腐病の発生を抑えられ、収量も良く、特にこないしんは予想以上の収量。今後も、**でん粉工場と連携して健全苗を活用**し、生産量確保に取り組みたい。



こないしんの生育状況

健全苗の確保

酒造メーカーとの連携

実施地区：枕崎市俵積田地区



ポイント

抵抗性の弱い「コガネセンガン」から抵抗性品種「みちしずく」へ転換しよう！

■ 取組内容

地区内の酒造メーカーと連携し、**抵抗性品種みちしずくを導入**。

■ 結 果

単収 みちしずく：3.3 t /10a、コガネセンガン：3.0 t /10a

■ 生産者の声

基腐病の被害が継続していたが、みちしずくを導入することで、被害軽減、収量確保につながった。酒造メーカーでは、みちしずくの焼酎を試作し、生産から出荷へつなげることができた。



みちしずくの生育状況

健全な農地の確保

仕組みづくり

実施地区：枕崎市俵積田地区



ポイント

早期耕うんを進めるため、受委託モデルの実証や裏作（野菜）の導入に取り組もう！

■ 取組内容

関係者で話し合いを実施し、隣接市の農業公社に**早期耕うんの作業を委託**。

また、大規模野菜法人等の**秋冬作野菜栽培を推進**するため、**地域計画の話し合い**等により、さつまいもの**ほ場の集約化**を図り、法人等が期間借地で借りやすい条件を創出。

■ 結 果

農業公社が、1.2haの耕うんを2回実施。

地区内外の大規模野菜法人等が、期間借地により野菜の作付け前に約20haの耕うんを実施。

■ 生産者の声

収穫と耕うん作業が競合するため、作業委託や期間借地により耕うんしてもらえて良かった。**翌年の発生抑制が期待**できる。



耕うん作業の様子